

令和 6 年度第 1 回柏市地域包括支援センター運営協議会会議録

1 開催日時

令和 6 年 7 月 1 1 日（木） 午後 1 時 3 0 分から 3 時 1 0 分まで

2 開催場所

柏市中央公民館 4 階 集会室 3（ハイブリット形式）

3 出席者

(1) 委員

石山委員（会長），織田委員，小山委員，武市委員，齊藤委員，高橋委員，山本委員
工藤委員，中基委員，石田委員

(2) 市

吉田健康医療部理事，岡村地域医療推進課長，島澤高齢者支援課長，大西健康政策課長

(3) 事務局（地域包括支援課）

小出課長，宮島専門監，小笠原統括リーダー，阿部統括リーダー，長谷部副主幹，山崎副主幹，
渡辺主査，北村主査，岡田主査，小川主査，松浦主任，中渡主任，喜田主任，上野主事補

(4) 地域包括支援センター等

山本柏北部地域包括支援センター長
志田柏北部第 2 地域包括支援センター長
大島北柏地域包括支援センター長
菅野北柏第 2 地域包括支援センター長
齊藤柏西口地域包括支援センター長
笠原柏西口第 2 地域包括支援センター長
村本柏東口地域包括支援センター長
志摩柏東口第 2 地域包括支援センター長
神津光ヶ丘地域包括支援センター長
宮原柏南部地域包括支援センター長
中村柏南部第 2 地域包括支援センター長
日笠沼南地域包括支援センター長
委託法人 株式会社アースサポート 佐藤エリアマネージャー

4 議題

- (1) 令和 5 年度柏市地域包括支援センターの事業実績について
- (2) 令和 5 年度柏市地域包括支援センターの事業評価について
- (3) 令和 6 年度柏市地域包括支援センターの事業計画について
- (4) 第 9 期柏市高齢者いきいきプラン 2.1 における地域包括支援センター関連施策について
- (5) 令和 6 年度地域ケア推進会議について

5 議事

(1) 令和5年度柏市地域包括支援センターの事業実績について	
事務局より資料1に沿って報告した後、質疑等を行った。主な内容は次のとおり。	
齊藤委員	事務局
1ページについて、ケアプラン作成件数のうち6割にあたる約26,000件がケアマネジャーに委託されている。ケアマネジャーは、利用者の実績資料を次月の5日までに担当する複数の地域包括支援センターへ持参しなければならない。利用者1人あたり約6枚で、20人なら120枚となり膨大な数を複数のセンターへ持参しているのが現状である。既存のシステム機能の活用による事務負担軽減には至っておらず、ケアマネジャーの負担軽減策を検討してほしい。	毎月の実績資料の提出が大きな負担となっていることは重々承知している。現在、メールへの添付やデータでのやりとりも検討している。既存のシステム業者でのデータ連携に課題があり実現に至っていないが、ケアマネジャーの負担軽減に努めていきたい。 なお、国民健康保険中央会が運営しているケアプランデータ連携システムでは、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所のみデータ連携が可能だが、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所間の連携も可能となるよう改修が進められているところである。こういったシステムの活用なども検討しながら、早い段階で負担軽減を図っていきたい。
石山会長	
国においても、介護予防のデータ連携に関して去年から研究が進められており、動向を踏まえ柏市においてもできることから進めていただきたい。	
<決定事項> 事務局からの報告内容にて、令和5年度柏市地域包括支援センターの事業実績として承認を得た。	

(2) 令和5年度地域包括支援センターの事業評価について	
事務局より資料2に沿って報告した後、質疑等を行った。主な内容は次のとおり。	
齊藤委員	事務局
11ページ以降の各地域包括支援センターのアンケート調査結果を見ると、満足度にかんがりのばらつきがある。特に柏北部第2地域包括支援センターや、柏南部第2地域包括支援センターの満足度が低いように見受けられるが、この原因が何なのか、また市としての対応を伺いたい。	満足度に関しては両センターに限ったことではないが、各センターにおいて最大限の努力をしていると認識している。満足度が得られない要因の一つは、職員の充足に苦慮していることである。 センターは社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの三職種がそれぞれの専門性を活かして複合的な課題に対して支援できることが最大の利点である。また、支援の質を高めるためにも、地域と共に歩む姿勢や力量が重要である。 市としてもチームアプローチをしっかりと実践できるように今後もサポートしていく。
石山会長	事務局
欠員については、現在市で対応しているということか。	受託法人と十分協議をし連携を取りながら、不足する部分は市の職員がサポートしながら対応しているところである。
<決定事項> 事務局からの報告内容にて、令和5年度柏市地域包括支援センターの事業評価として承認を得た。	

(3) 令和 6 年度地域包括支援センターの事業計画について	
事務局より資料 3 に沿って報告。主な内容は次のとおり。	
石山会長	事務局
(委員より質問等なし。) 認知症の方の増加や複合的な課題の増加に伴い、予防的な観点や見守り体制を活かしつつ事業活動を積み重ねていただいている。	—
< 決定事項 > 事務局からの報告内容にて、令和 6 年度柏市地域包括支援センターの事業計画として承認を得た。	

(4) 第 9 期柏市高齢者いきいきプラン 2 1 における地域包括支援センター関連施策について	
石田委員	事務局
直近の運営体制について、柏南部第 2 地域包括支援センターの常勤職員が 2 名となっているが、運営に支障はないのか。	地域包括支援センターの安定した運営の観点から、市として重く受け止めて対応を図っている。 現在受託法人に対して欠員の補充対応及び、補充されるまでの人員体制の整備をどのように進めていくかについて、継続的に協議をしながら依頼をしているところである。欠員による市民サービスの低下につながらないように、当課とセンターで常に情報共有し、不足する部分はサポートをする体制をとっている。また、医療職や主任介護支援専門員の不在による専門的視点の不足という課題についても、必要に応じて当課職員がサポート、またはアドバイスしながら市民サービスの低下を招かないよう努めている。課題の改善について、市としても最大限に対応していく。 また、同法人に限らず、欠員が生じている現状は市として認識しており、地域住民を支援できる体制構築に努めていきたい。
	アースサポート株式会社 (柏南部第 2 地域包括支援センター受託法人) 現状の取組については、エリアマネージャーが柏南部第 2 地域包括支援センターへ在籍し、組織強化と教育体制強化を図っているところである。他にも同法人内の責任者や、同法人受託の他センター職員のフォローがあり、現在 1 日あたり 3 名体制である。また、来月からは保健師が 1 名入社する予定で、4 名体制となる見込み。 また、欠員を補充するため、人材紹介会社に積極的に働きかけ、欠員の職種をスカウトしたり、インターネットサイトの募集ページでセンターの求人が検索上位にあがるよう工夫している。さらに、同法人内の他センターで応募があった際に、応募者が柏南部第 2 地域包括支援センターへ通勤可能な範囲であれば、法人の人事課にかけあい、優先的にセンターへ面接にきていただけるよう調整している。
石山会長	
人員不足については他センター、他市においても頭を悩ませている。人員の補充とともに機能していくということが重要であるため、人材が定着するよう引き続き周囲の方々にも御支援いただきたい。	

(5) 令和6年度地域ケア推進会議について	
中基委員	事務局
民生委員として5月中旬から声かけ訪問を行った。当地区は民生委員の定数の半数近くが欠員であるため、地域によってはポスティングを多く行った。もう少し早く「見守りチェックシート」のことを知っていれば活用することができた。今後はこのシートを使っていきたい。	—
齊藤委員 ケアマネジャー視点で考えると、すでに要支援状態の方を支援しているため、「見守りチェックシート」を使ってスクリーニングに参加するのは難しい。当市はケアマネジャーのうち、半数が主任ケアマネジャーであるため、社会資源を探すというよりも、自分達が社会資源となってこのシートの普及を行ったり、気になる方を見つけていく支援ができればと考えている。 また、虐待通報について義務になっているが、今年4月の介護保険法改正により高齢者虐待防止の推進が義務化されたことにより、ケアマネジャーもナーバスになっている。通報義務がなければ多少のことは見逃してしまうという気持ちも働いているのかもしれない。	
武市委員	村本柏東口地域包括支援センター長
認知症の症状の一つに「怒りっぽくなる」ことが挙げられるため、「大声をよく聞くようになった」ことも項目の一つに加えてもいいのではないかな。 「見守りチェックシート」はどこで入手できるのか。紙媒体だけではなく、携帯電話ですぐに見られるようにしてはどうか。インターネットを通じて見られる媒体であれば、利用しやすいのではないかな。	「見守りチェックシート」に関して、現在柏東口地域包括支援センターの担当圏域の民生委員及びサロンの代表者のみに配付をしているため、柏市全体で展開していない。
	事務局 今後の展開の予定としては、今回の地域ケア推進会議で御意見、御助言をいただいたため、柏東口地域包括支援センター圏域で使用した結果をブラッシュアップし、地域の方や市内全域の民生委員へ配布していきたいと考えている。
石山会長	事務局
見守りの目を増やす、気づける、繋がれるというのは他圏域でも課題となってくる。是非とも繋げていってほしい。	—
山本委員 健康づくり推進員は直接高齢者に関わることは少ないが「見守りチェックシート」を今後展開するなら、地域の文化祭などで配布してはどうか。 また、シートの項目に関して、認知症だと「被害妄想」の症状が出る場合があるため「物がよく失くると言っている」ことも追加してはどうか。	
石山会長	事務局
様々な意見を頂いたが、事務局でも意見を集約し、検討いただきたい。	独居高齢者の見守りについては、地域の方々やメディアからも注目されている。「見守りチェックシート」をきっかけに、見守り体制の構築に努めていきたい。

6 報告事項

- (1) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務の委託について
事務局より資料 6 に沿って報告を行った。
- (2) 介護予防支援事業者の指定について
事務局より資料 7 に沿って報告を行った。
- (3) 令和 4 年度のセンター運営に対する評価結果(全国・県平均との比較)
事務局より資料 8 に沿って報告を行った。

7 傍聴

- (1) 2 人
- (2) 傍聴の状況
傍聴要領に反する行為は見受けられなかった。

8 次回開催日時（予定）

令和 7 年 2 月 2 0 日（木）午後 1 時 3 0 分から 3 時 3 0 分まで